

ほけんだより 9月

まだまだ残暑が続きますが、日ごとに秋めいて急な気温の低下に毎日の着替えに悩む季節となりました。しかし、日中は汗ばむことも多く、これから寒暖差も出てきますので、衣服などを調節して快適に過ごせるようにしていきたいと思えます。季節の変わり目は気温の変化で体調を崩したり、夏の疲れが出やすくなる時期です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとって元気に過ごしていきましょう！

※園で過ごす時間は、脱ぎ着しやすいベストやフードの付いていないトレーナーなどで体温を調整できると最適です。安全上、フードがついた上着は、遊具に引っ掛かったり、引っ張られて事故につながるケースがあるためお控えいただけますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

〈非常時の持ち出し品の準備〉
リュックの中には非常時の持ち物を入れておきましょう



〈避難する場所〉
避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう



〈地震で倒れやすい物がないか〉
棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物などは固定するなどの工夫をしましょう



〈家族はぐれた場合の連絡方法〉
はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう



家庭内で起こりやすい事故として、誤飲があります。煙草の吸殻・電池・薬など危険なものは子どもの手の届かない場所に置くようにしてください。お風呂での溺水も多く、バスタブには水をためないか、浴室に鍵を掛けるなどの対策が必要です。自分の子どもの発達段階を知り、事故はいつも起こりうることを忘れず、子どもを事故から守りましょう。また、9月9日は救急の日です。ご家庭に救急箱はありますか？怪我をした時や、体調が悪い時にすぐに使えるよう、年に1回は確認しましょう。

- 絆創膏 ・ガーゼ ・サージカルテープ ・ピンセット ・体温計 ・綿棒 ・包帯 ・薬 ・爪切り ・ハサミ
- 脱脂綿 ・マスクなど ※消耗品は使ったら買い足しておきましょう。保険証もあると安心です。

おうちの中に事故やけがを招く危険な物がないか、事故を防ぐためにも、もう一度確認をしてみましょう。

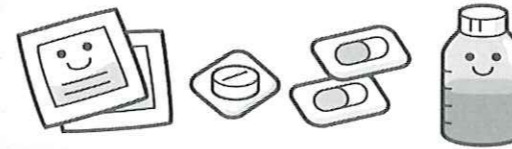
- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物はありませんか？（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置いていませんか？
- ・コンセントなどをいたずらできないようにされていますか？
- ・遊び食べに注意していますか？（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫していますか？



園で預かる薬について

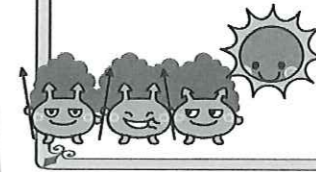
基本的に園で薬の与薬は行っておりません。主治医より、昼食後に服用する必要があると指示が出ているものに限ってお受けしています。受診をされる際には、子ども園に通っていることをお伝えいただき、朝夕1日2回、または、朝夕寝る前1日3回の服用も可能であるか、主治医にご相談してください。園児の安全のためにも、お薬は出来る限りご家庭で飲ませていただけますようご協力をお願い致します。やむを得ず薬を持参される場合は、下記の要項をご確認し、必要書類をご持参ください。

- 医師の処方以外の薬はお預かりできません。
- お薬は1回分のみ持参してください。
- 与薬依頼票(様式12)・与薬票・薬剤情報提供書の写しを提出ください。本園のHPからダウンロードできます。用紙は全てで3枚となります。
- 登園時に必ず職員に手渡ししてください。(手渡しでない場合で確認がとれない時は、与薬は出来ません)



暑い時期に多い感染症

- ヘルパンギーナ ※いずれも、ウイルス感染によって起こる病気です。他者への感染力も強いので、必ず受診をし医師の診断を受けましょう。
 - 手足口病
 - RSウイルス
 - プール熱(咽頭結膜熱)
 - 流行性結膜炎
 - 水いぼ
 - とびひ
- 上記に記載した感染症は登園停止になり登園届(様式10)が必要となります。本園のHPからダウンロードできます。



虫刺され予防・対応

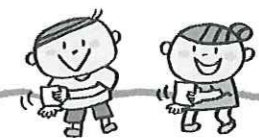
虫刺されは、かきこわしてしまつてとびひになることがあります。早めのケアと予防を心がけましょう。

◎予防・対応◎

園では園医と相談の上、対応策として虫除けスプレーサラテクト、虫刺され箇所には、園児の常備薬使用確認表をもとに、ムヒS・ムヒパッチを使用しています。

虫刺されが悪化しやすいお子様は事前に虫除け対策をしていただきますよう、お願いします。

刺されてしまったら…
患部を洗って冷やす
薬を塗る
かきむしらないよう工夫する



発熱について

何度かお知らせさせていただいていますが、引き続き毎朝の検温をお願いします。その際、**37.5度以上の発熱があれば、解熱してから24時間は園を欠席し、お家で様子をみてください。**

子どもは発熱・解熱を繰り返すことが多く、一時的な解熱の場合もあります。解熱してから24時間経過せず、登園することによって病気が悪化し、体調不良が長引く可能性があります。解熱剤の服用や座薬を使用し解熱した場合はまだ平熱状態ではありませんので、ご注意ください。また、ごきょうだいがどちらかが病気でお休みされている場合はできる限りごきょうだいで登園を控えていただきますようよろしくお願いします。

※37.5度以下の体温で咳症状など比較的に軽い風邪症状である場合でも、ぐったりしている・いつもと機嫌が違う・食欲がなく食べ物、飲み物を口にしないなどの様子がみられたら、園から保護者の方へ声を掛けさせていただき、受診をお願いする場合があります。

※感染症の種類によっては、登園届が必要です。園のしおり(様式10)に保護者記入で構いませんので記入し、職員へ渡していただくようお願いいたします。また、登園届が必要な感染症に感染された場合は、必ず園に電話を入れてください。発生状況については、園の掲示板に掲示します。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。